

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2019年8月9日

上場会社名 トナミホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9070 URL <http://www.tonamiholdings.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 綿貫 勝介
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 齋藤 英三郎 (TEL) 0766-32-1073
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	33,556	1.0	1,500	△15.1	1,669	△8.3	1,147	△1.3
2019年3月期第1四半期	33,212	4.7	1,767	33.0	1,819	22.0	1,161	22.5

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 430百万円(△81.3%) 2019年3月期第1四半期 2,301百万円(85.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	126.55	—
2019年3月期第1四半期	128.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	135,732	69,735	51.3
2019年3月期	136,759	69,754	51.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 69,691百万円 2019年3月期 69,712百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	40.00	—	50.00	50.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	50.00	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	69,600	3.3	3,800	8.4	3,950	8.2	2,480	7.9	273.58
通期	142,300	3.5	7,800	7.2	8,100	4.1	5,100	12.4	562.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	9,761,011株	2019年3月期	9,761,011株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	696,823株	2019年3月期	696,744株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	9,064,240株	2019年3月期1Q	9,065,335株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
事業別営業収益明細表	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年6月30日、以下「当第1四半期」という。)における日本経済は、内閣府発表の6月度月例経済報告によると、輸出や生産の弱さが続いているものの、緩やかな回復基調で推移しているとされております。

物流業界におきましては、国内貨物輸送量が2年連続のマイナスが予想されている中、人手不足の深刻化対応による人件費負担増や委託費の増大、また、産油国の政情悪化で不透明な燃料価格動向などもあり、先行き厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループは、第21次中期経営計画(2018年4月1日～2021年3月31日)の2年度目となる本年度も、「持続的な成長企業への進化!! Try & Growth “2020”」をスローガンのもと、事業継続にむけた経営基盤の強化に邁進しております。

当中期経営計画では働き方改革を経営の中心に据え、初年度より取組んできた「1人・時間当たりの生産性改善」、「安全・安心・安定した職場環境の実現」、「人材採用活動の推進」、「メンター制度推進」に加え、本年4月より施行された働き方改革関連法に基づいた社内環境の改善活動を進めております。

貨物自動車運送事業及び貨物利用運送事業においては、新規顧客拡大・既存顧客深耕による事業収益の拡大を推進するとともに、荷主企業の物流ニーズに沿うサービスの提案を推進し、重点とする3PL(サードパーティロジスティクス)をはじめとする事業の拡大につとめました。

その結果、当社グループの当第1四半期における経営成績は、営業収益において33,556百万円と、前年同四半期に比べ343百万円(1.0%)の増収となりました。

利益面におきましては、労働環境の整備や従業員の処遇改善などの働き方改革に伴うコストや、人手不足対応の為の外注委託費用の増大による負担増加の影響があり、新規顧客開発や運賃改定交渉などの収益拡大取組みと、コストコントロールによる収益管理や生産性向上等の取り組みによる吸収に努めましたが、営業利益は1,500百万円と、前年同四半期に比べ267百万円(15.1%)の減益となりました。

経常利益は1,669百万円となり、前年同四半期に比べ150百万円(8.3%)の減益となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,147百万円を計上し、前年同四半期に比べ14百万円(1.3%)の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、以下におけるセグメント利益は営業利益ベースの数値であります。

①物流関連事業

当第1四半期における物流関連事業は、3PL事業の伸展などにより営業収益は31,126百万円と、前年同四半期に比べ383百万円(1.2%)の増収となりました。

セグメント利益は、働き方改革に伴うコスト負担や人手不足による外注費の増大により、1,410百万円を計上、前年同四半期に比べ249百万円(15.0%)の減益となりました。

②情報処理事業

情報処理事業における営業収益は664百万円で、前年同四半期に比べ63百万円(10.6%)の増収となりました。セグメント利益は95百万円を計上し、前年同四半期に比べ19百万円(25.4%)の増益となりました。

③販売事業

物品販売ならびに委託販売業、損害保険代理業などの販売事業における営業収益は1,344百万円で、前年同四半期に比べ115百万円(7.9%)の減収となりました。セグメント利益では14百万円の損失を計上し、前年同四半期に比べ13百万円の減益となりました。

その他では、自動車修理業、その他事業などで営業収益421百万円を計上し、前年同四半期に比べ11百万円(2.9%)の増収となりました。セグメント利益は30百万円を計上し、前年同四半期に比べ2百万円の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は135,732百万円となり、前連結会計年度に比べ1,026百万円(0.8%)減少しました。これは主として投資その他の資産で投資有価証券が992百万円減少したことなどによります。

負債は65,997百万円となり、前連結会計年度に比べ1,006百万円(1.5%)減少しました。これは主として流動負債で未払消費税等が223百万円増加した一方で、流動負債で営業未払金が699百万円、未払法人税等が1,426百万円、賞与引当金が1,034百万円、それぞれ減少したことなどによります。

純資産は69,735百万円となり、前連結会計年度に比べ19百万円減少しました。これは主として親会社株主に帰属する四半期純利益が1,147百万円だったことや、その他有価証券評価差額金が702百万円減少したことなどによります。

以上により、自己資本比率は前連結会計年度の51.0%から51.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経済情勢につきましては、企業業績は当面弱さが残る中、緩やかな回復基調が続くことが期待されるものの、通商問題による海外経済の動向、金融資本市場の変動の影響など、不確実性の高い状況が続くものと予想されます。

このような中、当社グループは、第21次中期経営計画の達成に向け、引き続き「市場・顧客ニーズの変化に対応する事業基盤の強化」、「働き方改革の推進」、「精度・基準・手法の統一による管理部門の効率化」、「高品質経営の推進」、「グループ企業の役割機能の強化と経営インフラの整備」、「M&A推進・業務資本提携等の積極的な展開」の6つの改革に邁進し、持続的な成長の実現と企業価値向上につとめてまいります。

また、引き続き運賃・料金の適正収受の取組みと業務効率化による生産性向上を並行し、グループの輸配送能力や保管・荷役など多様な機能を統合し、物流サービスの安定供給に注力してまいります。

このような事業活動を積極的に推進する中で、当社グループの2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月10日に公表致しております、当第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,407	20,094
受取手形	3,115	2,930
営業未収入金	19,768	18,700
たな卸資産	689	692
未収還付法人税等	448	701
その他	2,556	2,813
貸倒引当金	△114	△84
流動資産合計	45,871	45,849
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,322	20,061
機械装置及び運搬具（純額）	2,631	2,779
土地	41,453	41,453
その他（純額）	7,014	7,237
有形固定資産合計	71,421	71,532
無形固定資産		
のれん	397	379
その他	908	904
無形固定資産合計	1,305	1,284
投資その他の資産		
投資有価証券	12,961	11,968
破産更生債権等	72	77
繰延税金資産	758	709
その他	4,909	4,903
貸倒引当金	△540	△591
投資その他の資産合計	18,160	17,067
固定資産合計	90,887	89,883
資産合計	136,759	135,732

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	993	900
営業未払金	12,051	11,351
短期借入金	9,748	9,750
1年内返済予定の長期借入金	3,857	3,951
未払法人税等	1,892	466
未払消費税等	768	991
賞与引当金	1,475	441
その他	8,845	10,881
流動負債合計	39,632	38,734
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	2,931	2,770
再評価に係る繰延税金負債	3,765	3,765
役員退職慰労引当金	186	150
債務保証損失引当金	57	57
退職給付に係る負債	7,095	7,114
繰延税金負債	2,672	2,650
その他	5,663	5,756
固定負債合計	27,372	27,263
負債合計	67,004	65,997
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,182	14,182
資本剰余金	11,699	11,699
利益剰余金	34,583	35,283
自己株式	△2,063	△2,063
株主資本合計	58,402	59,101
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,697	3,994
土地再評価差額金	6,352	6,352
退職給付に係る調整累計額	259	242
その他の包括利益累計額合計	11,310	10,590
非支配株主持分	42	43
純資産合計	69,754	69,735
負債純資産合計	136,759	135,732

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
営業収益	33,212	33,556
営業原価	29,705	30,250
営業総利益	3,507	3,306
販売費及び一般管理費	1,739	1,805
営業利益	1,767	1,500
営業外収益		
受取利息	39	42
受取配当金	99	110
受取家賃	26	26
持分法による投資利益	6	25
その他	37	38
営業外収益合計	209	243
営業外費用		
支払利息	53	52
貸倒引当金繰入額	72	13
その他	32	7
営業外費用合計	157	73
経常利益	1,819	1,669
特別利益		
固定資産売却益	29	34
受取保険金	0	146
その他	1	0
特別利益合計	31	181
特別損失		
固定資産売却損	5	4
固定資産除却損	7	12
投資有価証券評価損	14	3
災害による損失	—	13
その他	2	4
特別損失合計	30	38
税金等調整前四半期純利益	1,820	1,811
法人税、住民税及び事業税	257	313
法人税等調整額	398	347
法人税等合計	656	661
四半期純利益	1,163	1,150
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,161	1,147

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	1,163	1,150
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,133	△702
退職給付に係る調整額	3	△16
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	1,137	△719
四半期包括利益	2,301	430
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,299	427
非支配株主に係る四半期包括利益	2	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項がありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 注1	合計	調整額 注2	四半期連結 損益計算書 計上額 注3
	物流関連 事業	情報処理 事業	販売 事業	計				
営業収益								
外部顧客に対する営業収益	30,742	600	1,460	32,803	409	33,212	—	33,212
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	9	74	1,110	1,194	33	1,228	△1,228	—
計	30,752	675	2,570	33,997	443	34,440	△1,228	33,212
セグメント利益	1,660	75	△1	1,734	33	1,768	△0	1,767

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車修理業やその他事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△0百万円にはセグメント間消去203百万円と各報告セグメントに配分していない全社費用△203百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない財務諸表提出会社の費用です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 注1	合計	調整額 注2	四半期連結 損益計算書 計上額 注3
	物流関連 事業	情報処理 事業	販売 事業	計				
営業収益								
外部顧客に対する営業収益	31,126	664	1,344	33,135	421	33,556	—	33,556
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	11	146	1,106	1,264	26	1,290	△1,290	—
計	31,138	810	2,450	34,399	447	34,847	△1,290	33,556
セグメント利益	1,410	95	△14	1,491	30	1,522	△21	1,500

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車修理業やその他事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△21百万円にはセグメント間消去195百万円と各報告セグメントに配分していない全社費用△217百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない財務諸表提出会社の費用です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

事業別営業収益明細表

(単位：百万円)

事業別	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		増減	
	営業収益	構成比	営業収益	構成比	金額	増減率
物流関連事業	(30,742)	(92.6)	(31,126)	(92.7)	(383)	(1.2)
貨物自動車運送事業 及び貨物利用運送事業	23,267	70.1	23,062	68.7	△205	△0.9
倉庫事業	6,318	19.0	6,880	20.5	563	8.9
港湾運送事業	1,158	3.5	1,184	3.5	25	2.2
情報処理事業	(600)	(1.8)	(664)	(2.0)	(63)	(10.6)
販売事業	(1,460)	(4.4)	(1,344)	(4.0)	(△115)	(△7.9)
その他	(409)	(1.2)	(421)	(1.3)	(11)	(2.9)
合計	33,212	100.0	33,556	100.0	343	1.0

(注) その他欄には、自動車修理業、その他事業の各収入を含めて表示しております。